



～地域とともにある学校をめざして～

# 鯨コミ

R7年度 CS通信No.4 R7.7.1



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

## 舞戸小5年児童が「田植え」体験(6/3)



今年、風丸農場の田んぼをお借りして、田植え体験学習を行いました。この田植え体験学習には、教職員5名の他、つがるにしきた農業協同組合から4名の職員が指導に入りました。また、舞戸小担当の地域学校協働活動推進員、渋谷貴子さんの声掛けで、学校支援ボランティア4名が集まり、児童の活動支援を行いました。

はじめに、田植え定規を使って、苗を植えるところに児童が交代で型をつけました。

次に、型をつけたところに、一人3～4列ずつ苗を植えていきました。苗がなくなると、ボランティアの方々が苗のかたまりを受け取りやすいように放り投げ、作業は順調に進みました。

最後に、ボランティアと数名の児童が、植え足りないところに、苗を追加して植えていきました。

今日植えた苗はまっしぐらで、収穫もかなり期待できるということでした。

秋には、稲刈り体験も行うということなので、どのくらいの量を収穫できるかが楽しみです。

## 地域の方が指導するクラブ活動(西海小)(6/20)



西海小学校では、いろいろな分野で特技を持つ地域の方々が講師となってクラブ活動を運営しています。パソコン、料理、運動、みんなの音楽、ミステリーの5つのクラブがあり、4～6年児童24名が希望により、それぞれのクラブに所属し、活動しています。

料理クラブでは、工藤さんを講師に、フライドポテトと大学イモを作っていました。

講師の工藤さんは、低温から弱火で、時間をかけて焼くように指導していました。

工藤さんに話を聞くと、「こどもたちは、よく話を聞き、要領よく作業している。毎回、楽しみにしているようだ。」と、話していました。

クラブ活動は、1回60分で、年間7回実施する予定です。

## 全校パワーアップタイム(西海小)(6/27)



西海小学校では、金曜日の午後15分間、パワーアップタイムと称し、全校で、たし算・ひき算・かけ算・わり算の計算練習に取り組んでいます。

このパワーアップタイムには、西海小担当の地域学校協働活動推進員、工藤律子さんの声掛けで学校支援ボランティアが6名入り、こどもたちの答案用紙に〇つけを行っていました。

学校支援ボランティアが入ることにより、こどもたちは、並ぶ時間を短縮し、短い時間でたくさん計算練習をすることができます。

学校支援ボランティアの皆さんに話を聞くと、「ほとんどの子が全部正解でびっくりしました。」と話していました。